

2015 年度事業計画

はじめに

琵琶湖は、水資源としてだけでなく、豊かな生態系を育み、その周りに住む人たちによって固有の文化や景観が形成されるなど、多様な価値を持っています。しかし近年は地球温暖化、異常気象による災害、生物多様性の損失など環境問題は複雑化しています。普段の暮らしの中で川や琵琶湖との関わりが薄くなり、身近な生態系の変化に気付くことが難しくなっています。

1996 年に住民主体で赤野井湾の再生を目的に設立した、当法人の前身である「赤野井湾流域協議会」は、2004 年に法人格を取得し「NPO 法人びわこ豊穰の郷」とった後も、その意思を受け継ぎ「ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現」「琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現」を掲げて、水環境の様々な活動を続けてきました。

2014 年（昨年）2 月に適正な運営、活動の公益性、事業の健全性、財政の透明性などが評価され滋賀県より認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷として認可されました。

これを機に、賛助会員や寄付を募った結果、当法人会員や住民、企業から理解を得、「ほたるサポーター」として活動を支えて下さっています。今後は認定 NPO 法人の利点である税制優遇を生かして、安定的な財源を生み、更なる活動と事業の継承を次世代に託したいと思います。

また、外来生物オオバナミズキンバイ除去にも精力的に取り組みました。地域や企業、学生ボランティアとの協働で、豊かな赤野井湾を取り戻すため、連携を深めて共に汗を流したいと思います。

このような活動が高く評価され今年 3 月に滋賀経済同友会・滋賀県より「滋賀 CSR 経営大賞 特別賞」を受賞するという輝かしい成果を生む事ができました。

いよいよ、活動を始めて 20 年を迎える事になります。10 年を一区切りとして社会に活動の報告をさせて頂きましたが、同様に 20 年も一区切りとして活動の評価をし、社会に報告をして、活動の継承をしたいと思います。

1. 事業実施の方針

（1）水環境保全活動の取り組み

- ① 諸活動の継続と新たな展開
- ② 地域との協働の推進

（2）財政の確保で新しい事業をサポート

認定 NPO 法人の利点を生かし、市民の賛同を寄付へとつなぎ、安定的な財源の確保を目指す。
また、その財源を活用しホテルが飛び交う豊かな河川への改修を提案、実践する。

（3）賛助会員の募集で、会員数の増加をめざす

組織の活性化を進めるために、多くの会員による活動への参加と、イベントでの会員獲得のための積極的な募集を推進する

（4）会議の開催

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 総会 | 年 1 回開催（5 月） |
| ② 運営委員会 | 毎月第 2 木曜日に開催 |
| ③ 環境情報発信事業部会 | 毎月第 1 木曜日に開催 |
| ④ 環境保全学習事業部会 | 毎月第 1 木曜日に開催 |
| ⑤ その他委員会など | 随時必要に応じて開催 |

（5）事業の開催

- ① 第 12 回 守山ほたるパーク&ウォーク実行委員会
- ② オオバナミズキンバイ除去プロジェクト
- ③ 「守山ほたるサポーター」事業の推進
- ④ 20 周年事業プロジェクト立ち上げ準備

2. 事業の実施に関する事項

平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日

(1) 特定非営利活動に係る事業

① ホタルの調査、飼育及び研究事業

11,228,000 円

事業内容

(1) 守山市ほたるの森資料館指定管理運営

ほたる河川の観察と維持管理を行い、木道など資料館施設の老朽化した箇所を修復し、安全に観察できる場所の拡大をめざす

- 館内の新規展示物の充実を図り、来館者の増加につなげる
 - ・ホタルおよびカワニナに関する新規展示
 - ・守山ほたる会との事業協同化で資料館を有効活用する
- 守山ホタル研究室の運営
 - ・ホタル研究室を運営し、幼虫飼育量の増加、飼育技術向上およびその普及を目指す
- 守山ほたるパーク&ウォーク
 - ・期間 5 月 29 (金) ～6 月 7 日 (日)
 - ・夜間開館の実施
 - ・市民運動公園内コースの安全対策を実施
- 市民運動公園再整備計画への参画
 - ・ホタル飛翔区域の確保について提言を行う

(2) ホタル環境調査

- ほたるマップ作成 (1000 部)
 - 守山市内河川のホタル飛翔数を基に作成
- 飛翔調査 (ボランティア調査員一般募集)
 - 期 間 : 5 月 18 日(月)～6 月 17 日 (水)
 - 調査地点 : パーク&ウォーク散策路及び、守山市ほたる条例第 5 条の規定に基づき定めた保護区域 (ほたる河川)

(3) ホタル飼育及び研究

- ホタル講座 (全 8 回実施) 10 名程度を一般募集
- 環境学習会 (全 2 回以上実施) 40 名程度を一般募集
- ホタル及びカワニナの飼育および研究 (通年)
- 市内外河川の各種 (水質、水生生物、河川構造等) 調査 (通年)

② 環境情報発信事業

1,672,100 円

事業内容

(1) ホームページの充実

- 当法人の定款及び組織などの広報
- 行事予定、行事終了後の報告など、活動を広く周知するため、随時更新
- フェイスブックページの管理、運営

(2) 機関誌発行

■ 豊穰の郷だより発行

71号～74号を発行（4月、7月、10月、1月）機関誌を通じて、当法人の活動を広く周知

(3) 学区民のつどい等情報提供

目的

水環境保全の大切さを広く啓発し、市民の意識向上に繋げる。

活動内容

環境啓発パネル・環境エコクイズの実施

- 地球市民の森のつどい参加
- もりやま環境フェア
- 各学区民のつどいへの参加
- もりやま市民活動屋台村参加

(4) 地域情報ネットワークづくり

目的

地域で取り組んでいる川づくりの技術や経験、活動を共有化し広報する。

活動内容

市内の各地域で取り組まれている川づくりを支援し、その情報を収集するとともに共有を進めるため、活動内容や成果をホームページで公開する。更に地域間の交流を深めるため、水環境に関わる団体や学識者の講演会と併せ地域の成果発表会を開催する

- 第13回川づくりフォーラムの開催
- ホームページ講習会の実施（自治会ホームページ担当者向け講習会）
- 各自治会ホームページのリンク集づくりの検討

(5) 守山の水辺百選

目的

- ・ 守山の水辺に対する愛着、興味をもってもらえるよう意識啓発を図る。
- ・ 「守山の水辺百選」の充実

活動内容

- ・ 地域住民とともに選定された「守山の水辺百選」周知のため、水辺百選の中からテーマを決めて地点を選び、講座を持ち、水辺への愛着を深め水環境への関心につなげる。

- 守山の水辺百選の更なる充実
- 守山水辺百選講座の実施

(6) 先進地研修・研修受入れ

目的

他団体から取組みを学び、当法人の活動や取組を共有する。

- 先進地研修会の実施
- 研修の受け入れ

(7) 市民による環境白書

目的

市の環境の状況を取りまとめ、市民が守山市の環境について学習することにより、より良い環境づくりにつなげる。

活動内容

平成 26 年度の環境実績を基に、河川および赤野井湾の水質汚濁状況、環境保全への取り組み、環境を守る市民運動の取り組み、地球温暖化対策などを取りまとめ、「守山市の環境」として作成および印刷

- 「守山の環境」平成 27 年度版 発行 (300 部)

③環境保全実践学習事業

1,813,000 円

事業内容

(1) 目田川モデル河川づくり

目的

理想的な川づくりのモデルとして、地域の川づくりに役立てる。

活動内容

- ・ 川の現状をできるだけ自然の姿に保ちつつ整備し、水辺の遊びと憩いの場を提供し、市民の水辺への関心を喚起するモデル的な河川をつくる。
- ・ 目田川の水質調査を継続的に行う中で、調査結果から得られたものを生かした河川環境づくりに取り組む。
- ・ 川の環境を観察、記録し、その環境の変化を子どもたちや市民に提供する。
- ・ 地域や他団体との連携を図り、協働による河川づくりに努める。

■ 目田川モデル河川づくり

作業日：毎月第 3 土曜日（雨天時は翌日に順延）

4 月～9 月 8：30 より・10 月～3 月 9：00 より

(2) 河川水質調査

目的

- ・ 河川の実情把握と対策の資料作成
- ・ 住民への啓発
- ・ 河川の水質改善

活動内容

地域住民による、河川の水質、水量、水辺環境などの調査を実施し、そのデータを解析し、経年変化を明確にして水質改善対策や環境学習の資料とする。（データの保存と公開）

■ 河川水質調査

調査時期：5 月、5 月代かき時、8 月、11 月、2 月

調査場所：市内 8 河川 80 か所

<p>(3) 水生生物調査</p> <p><u>目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の実情把握と対策の資料作成 ・住民への啓発 ・河川環境の改善 <p><u>活動内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による赤野井湾や流域河川の水生生物等の生息状況を調査することで、水質調査との比較、川の構造、生き物に優しい川づくりを模索する。 ・調査結果を環境学習に活用する。 <p>■ 水生生物調査の実施</p>	
<p>(4) 水辺の楽校</p> <p><u>目的</u></p> <p>子どもたちに水環境学習の場を提供し、地域の環境リーダーを育成する。</p> <p><u>活動内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに水辺環境の意義や大切さを学んでもらうため、ホタルの放流を通して体験学習を行う。 ・水辺の遊び場や憩いの場として、市民の理想的な河川づくりを目指している目田川を活用して開催する。 ・子ども環境リーダーを育成する。 <p>■ 水辺の楽校 夏編・秋編・春編 （年 3 回）</p>	
<p>(5) 赤野井湾探検会</p> <p><u>目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川と赤野井湾（琵琶湖）の実情把握と水質相関の確認 ・体験学習 <p><u>活動内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖上からの赤野井湾や琵琶湖の実情観察 ・湾内調査や稚魚の放流 <p>■ 第 18 回赤野井湾探検会</p>	
<p>(6) 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦</p> <p>■ 第 7 回赤野井湾小津袋クリーン大作戦の実施</p> <p>地域自治会、漁協、企業や当法人との協働で、琵琶湖、赤野井湾の清掃活動など</p>	
<p>④守山ほたるサポーター事業</p> <p>604,700 円</p> <p>ホタルなど、様々な生物が生き生きと棲める水環境の保全と保護に取り組むための事業</p> <p>■ もぴかプロジェクト</p>	

(2)その他の事業

事業内容	94,400 円
<p>1. 賃貸事業</p> <p>■ 会議室の賃貸</p>	